

特集
きっかけはスイーツ!
地域に生まれた魅力

真つ黒な生地に竹炭の特製クリームがたっぷり入ったシュークリーム、クリームに香り高い黒ごまが練り込まれたエクレア、フランス産マロンペーストに竹炭とラム酒を使用したモンブラン、練乳入りの黄身餡をチョコ生地で包んだ饅頭……。スタイリッシュで高級感が漂うデザインに、地元の和洋菓子職人が味・素材にこだわり

8人の菓子職人が生み出した
高級感のあるスイーツ

福岡県のほぼ中央に位置し、かつては炭鉱のまちとして栄えた嘉飯地域（飯塚市・嘉麻市・桂川町）。石炭産業で日本の近代化を支えたこの地では、早くからお菓子文化が花開いた。現在は、多くの菓子店が存在する特色を生かし、県・市・町と民間が協力して「黒」をテーマにしたスイーツブランドを立ち上げるなど、地域の新しいイメージを強力に発信する活動を展開している。

抜いた8種類の斬新なスイーツ「KURO SELECTION」(タロセクション)は、石炭の「黒」をテーマに、竹炭やビターチョコ、黒糖、黒ごまなどを使って黒く仕上げたお菓子だ。

「江戸時代、嘉飯地域には長崎の出島と小倉を結ぶ長崎街道が通っていました。街道は輸入された砂糖が運ばれていたことから、シュガーロードとも呼ばれ、この地域は宿場町として栄えました。明治から昭和にかけては国内屈指の石炭の産出量を誇り、炭鉱労働者が疲れを癒やすために甘いものを求めたということもあって、多くの菓子店が誕生したのです。そこで、お菓子をテーマに人口減少が進む地域を活性化させようというお話を県からいただきました」と語るのは、「KURO SELECTION」の立ち上げに中心的な役割を担った、洋菓子店・パティスリーゼン代表取締役の杉岡昭夫さんだ。

「黒」を選んだのは石炭に由来

する。

「炭鉱のまち」として知られる地域ですが、一方で「暗い・きつい・汚い」というイメージもありました(苦笑)。それを払しょくするだけでなく、黒という色が持つ高級

感、スタイリッシュさを生かすことでイメージアップを目指そうと考えたのです。ちょうどそのころ、私自身も知り合いと共同で黒いお菓子をつくってみようという話をしていました。地域活性化にも意



▲参加する8店が共通のブランドロゴ(中央)を使いPRしている「KURO SELECTION」。(左上から時計回りに)モンターニュ、炭都エクレア、たどん、クレーム・ブリュレ KURO、黒豆・黒ごまチーズタルト、KURO・The Bitter、黒宝-こくほう-、ヤミブラック

地域の新たなイメージをつくり、
知名度アップと交流人口拡大へ

福岡県・飯塚市・嘉麻市・桂川町

特集

きっかけは
スイーツ!
地域に生まれた
魅力

スイーツを生かした取り組みが地域を盛り上げている。今号は、人と人のつながり、にぎわいづくり、地域を越えた交流など、スイーツをおいしく活用している地域の事例を紹介する。